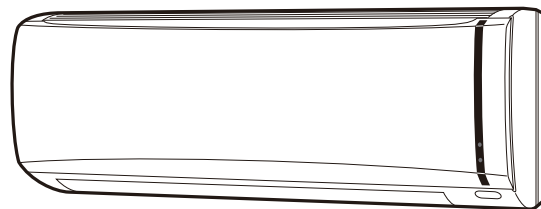


CORONA

コロナルームエアコン 家庭用

取扱説明書



型式	室内ユニット	室外ユニット
	アールシー フイ アール	アールオー フイ アール
	RC-V2822R	RO-V2822R
	RC-V4022R	RO-V4022R

このたびは、コロナルームエアコンをお買いあげいただき、
まことにありがとうございました。

- ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
それぞれの性能を十分にお心得になったうえで安全に
正しくご使用ください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
( 1～2ページ)
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ら
れる所に保証書、据付説明書とともに大切に保管して
ください。

この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる
外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This product is designed and manufactured for use only in
Japan. In another country which differs in voltage and
frequency of the power supply from Japan, this product
cannot be used and any after-sales service is not available.

もくじ

ページ

1	安全上のご注意	1～2
2	各部のなまえとはたらき	3～4
3	運転前の準備	5～6
4	省エネのためのじょうずな使いかた	6
5	自動運転	7
6	手動運転	7～8
7	風向/スイング運転	9
8	パワーセーブ運転	9
9	内部乾燥運転	10
10	タイマー運転	10
11	お手入れのしかた	11
12	エアコンの運転と性能について	12
13	故障かな？と思ったら	12
14	据え付け	13
15	仕様	13
16	保証とアフターサービス	14
17	長期使用製品安全表示制度に 基づく本体表示について	14
■	お客様ご相談窓口	裏表紙

1 安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

○誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次のように区分して説明しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
 注意	取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う、または物的損害を生じるおそれがある」内容です。

○お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。

	してはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。

据え付け時のご注意

 警告			
据え付けは、お買いあげの販売店または専門業者に依頼する ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水もれや感電・火災の原因になります。  必ず守る	漏電しゃ断器を取り付ける 漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電、火災の原因になります。 お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。  必ず守る	電源は必ずエアコン専用のコンセントを使用する 専用以外のコンセントを使用すると、発熱による火災の原因になります。  必ず守る	
アース(接地)を確実におこなう アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。  アース線接続		指定冷媒(R32)以外は使用(冷媒補充・入れ替え)しない 機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。  禁止	
 注意			
可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない 万一ガスがもれてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。   禁止		ドレンホースは、確実に排水するように配管する 不確実な場合は屋内に水もれし、家財などをぬらす原因になることがあります。  必ず守る	

移設・修理時のご注意

 警告	
修理は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼する 修理に不備があると感電・火災などの原因になります。  必ず守る	エアコンを移動再設置する場合などは、お買いあげの販売店または専門業者に依頼する 据え付け不備があると感電・火災などの原因になります。  必ず守る

安全に使っていただくためのご注意

 警告	
吹出口や吸込口に指や棒などを入れない 内部でファンが高速回転しており、けがの原因になります。  禁止	長時間冷風を身体に直接あてたり、冷やしすぎない 体調悪化・健康障害の原因になります。  禁止
異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源プラグを抜き修理を依頼する 異常のまま運転を続けると故障や感電、火災などの原因になります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。  プラグを抜く	運転中に、電源プラグを抜いて停止しない 感電や火災の原因になります。  禁止

●据え付けに関する詳細については13ページの「据え付け」の項目をごらんください。

●修理については、12・14ページの「故障かな?と思ったら」や「保証とアフターサービス」の項目をごらんください。

安全に使っていただくためのご注意

警告

電源プラグは、電源プラグ側だけでなくコンセント側にもほこりが付着していないか確認し、がたつきのないよう刃の根元まで確実に差し込む



必ず守る

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。コンセントにがたつきがある場合は、お買いあげの販売店または専門業者に相談してください。

電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱や加工したりしない



禁止

電源コードが破損して、感電や発熱・火災の原因になります。

電源コードの途中での接続、延長コードの使用、タコ足配線はしない



禁止

感電や発熱・火災の原因になります。

**エアコンが冷えない場合は、冷媒のれが原因のひとつとして考えられるので、お買いあげの販売店に相談する
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する**



必ず守る

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常もれることはありませんが、万一冷媒が室内にもれ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒な生成物が発生する原因になります。

**お客様自身で室内ユニット内部の洗浄をしない、また消臭剤を吹きかけない
内部の洗浄には専門技術が必要なため、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談する**



必ず守る

樹脂部品の破損・内部部品の劣化・排水経路の詰まりに至ることがあり、水もれや感電の原因になることがあります。また、洗浄剤や消臭剤が電気部品やモーターにかかる、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

注意

室外ユニットの上に乗ったり、物をのせたりしない



禁止

落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。

エアコンの風が直接あたる所で燃焼器具を使わない

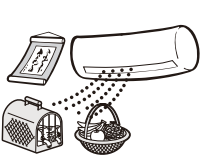


禁止

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

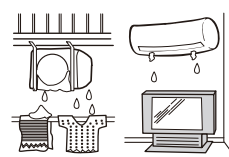
特殊用途には使用しない

食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。食品の品質低下などの原因になることがあります。



禁止

室内外ユニットの下に他の電気製品や家財などを置かない



禁止

水滴が滴下する場合があります。汚損や故障の原因になることがあります。

燃焼器具と併用するときは、こまめに換気する



必ず守る

換気が不十分な場合は、酸素不足により不完全燃焼の原因になることがあります。

お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く



プラグを抜く

内部でファンが高速回転しておりますのでけがの原因になることがあります。

動植物に直接風をあてない

動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



禁止

長期間使用しない場合は電源プラグを抜く

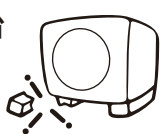


プラグを抜く

ほこりがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

長期使用で傷んだままの据付台などで使用しない

ユニットの落下・転倒につながり、けがなどの原因になることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張って抜かない



禁止

芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせない



水ぬれ禁止

漏電によって感電や発火の原因になることがあります。

雷が鳴り落雷のおそれがあるときは運転を停止し、電源プラグを抜く



プラグを抜く

被雷すると、故障の原因になることがあります。

ユニットのアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。



接触禁止

ぬれた手でスイッチを操作しない



ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

エアコンの操作やお手入れのときは、不安定な台に乗らない



禁止

転倒などけがの原因になることがあります。

吸込口や吹出口をふさがない



禁止

能力低下や故障の原因になることがあります。

冷房やドライ運転時、窓を開けた状態(湿度80%以上)で長時間運転をしない



禁止

室内ユニットに露がつき、滴下して家財などをぬらし汚損の原因になることがあります。

床面などにワックスを塗布するときは、運転をしない



禁止

エアコン内部にワックスの成分が付着し、水もれの原因になります。ワックス塗布後は十分換気してから運転してください。

2 各部のなまえとはたらき

室内ユニット

吸込口

(天面)
室内の空気を吸い込みます。

オープンパネル

はずして洗うことができます。
(☞ お手入れのしかた 11 ページ)

吹出口

室内に風を吹き出します。

ルーバー

風の上下方向をリモコンで調節します。
(☞ 風向調節 9 ページ)

左右風向グリル

風の左右方向を手動で調節します。
(☞ 風向調節 9 ページ)

自動運転スイッチ

(内部)
応急自動運転および内部乾燥運転をしたいときに使用します。
(☞ リモコンが使えないとき(応急自動運転) 5 ページ)
(☞ 内部乾燥運転 10 ページ)

型式・製造年

銘板に表示されています。

エアフィルター(抗菌・防カビ)

吸い込んだ空気中のほこりやゴミを取り除きます。
(☞ お手入れのしかた 11 ページ)

電源コード

電源プラグ

ドレンホース

冷房・ドライ運転時に室内ユニットから出た水分を
室外へ排出します。
(☞ 据え付け 13 ページ)

冷媒配管と連絡電線

室外ユニット

※28クラスは形状が異なります。

吸込口

(背面・側面)

吹出口

冷房・ドライ運転中は温風を吹き出します。

型式

銘板に表示
されています。

アースネジ

(カバー内部)

付属品

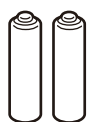
リモコン



(リモコン)
型式
AR-03)

(☞ リモコン 4 ページ)
(☞ 運転前の準備 5 ページ)

乾電池



単4形乾電池
(2本)

本体表示部

運転(セーブ)ランプ

通常運転中：【緑色】に点灯
 パワーセーブ運転中：【オレンジ色】に点灯 (12ページ)
 内部乾燥運転中：【赤色】に点灯 (10ページ)
 風量最大運転中：【赤色】に点灯 (8ページ)

タイマーランプ

タイマー運転中：【緑色】に点灯 (10ページ)

受信部

リモコンからの信号を受信すると、受信音になります。
 運転開始・設定変更「ピッ」
 運転停止「ピー」

※ランプが点滅している場合は (12ページ)

本体に向けて7m以内
 から操作をしてください。

送信部

リモコン

タイマー切換ボタン

タイマー運転 10ページ

風量設定ボタン

手動運転 8ページ

風向/スイングボタン

風向調節 9ページ

自動/最大切換ボタン

手動運転 8ページ

リセットボタン

運転前の準備 5ページ

運転切換ボタン

自動運転 7ページ
 手動運転 7ページ

温度設定ボタン

手動運転 8ページ

パワーセーブボタン

パワーセーブ運転 9ページ

タイマー時間切換ボタン

タイマー運転 10ページ

運転/停止ボタン

ボタンを押すと運転を開始します。
 もう一度押すと運転を停止します。

リモコン表示部の表面に保護シートを貼っていますので、取り除いてください。

液晶表示部

※説明のため全部表示した状態にしてあります。

タイマー運転表示

タイマー運転中「入タイマー」は○、「切タイマー」は●が点灯します。
 連続運転時は表示しません。

風量表示

設定風量の位置の■が点灯します。
 自動 ■ のとき、本体表示部の運転(セーブ)ランプの点灯色で現在の設定風量をお知らせします。(8ページ)

運転(セーブ)ランプの点灯色	設定風量
赤色	最大
緑色	自動

※パワーセーブ運転中は共にオレンジ色に点灯します。

送信表示

信号送信時に点灯します。

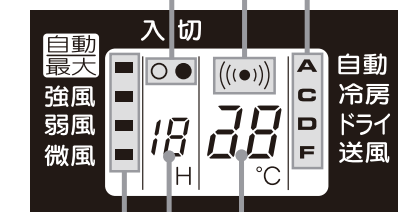
運転モード表示

運転の種類を表示します。

A-「自動」 C-「冷房」
 D-「ドライ」 F-「送風」

温度表示

設定温度を表示します。(17~30℃)
 運転モードが「自動」のときは表示しません。



タイマー時間表示

タイマー運転中は、1時間単位でタイマー時間を表示します。(1H~12H)

ご注意

- 室内ユニット受信部とリモコンの間にカーテンなど信号をさえぎる物があると、リモコンの信号を受け付けません。
- 室内ユニット受信部に直射日光があたっていると、リモコンの信号を受け付けられない場合があります。
- 電子瞬時点灯方式またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では、リモコンの信号を受け付けられない場合があります。このようなときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- リモコンを投げたり、落としたりしないでください。また、水などをかけたりしないでください。
- エアコンは室温センサにより、設定温度にあわせてエアコンの運転能力を調整します。
 - 室温センサは室内ユニット周辺温度を感じていますので、お部屋の温度計とは一致しないことがあります。
 - 室内ユニットに直射日光やすきま風があたっていたり、他の光熱器具の影響を受けている場合は、室温センサが正確に作動しません。

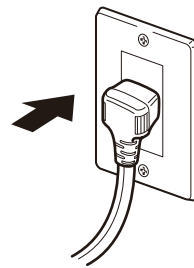
運転前の準備

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

ゆるみのないようにしっかりと差し込みます。

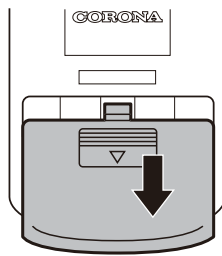
お知らせ

- 電源プラグをコンセントに差し込むと、リモコン受信をするまで本体表示部の運転（セーブ）ランプ【緑色】が点滅した状態となります。

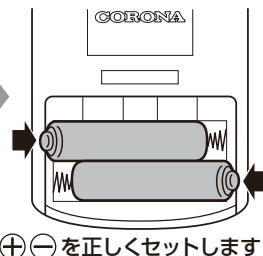


2. 付属の乾電池をリモコンに入れます。

リモコン裏のふたを開けます

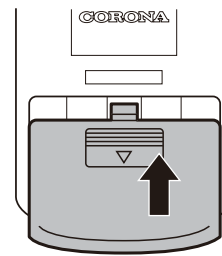


単4乾電池2本を入れます

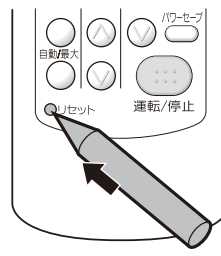


⊕ ⊖ を正しくセットします

ふたを閉めます



リセットボタンを先の細いもので押します



乾電池の交換時期

- 液晶表示部がうすくなってきたら、電池が消耗してきています。新しい乾電池に交換してください。

使用乾電池

- 単4形 2本

お知らせ

- 通常のご使用で乾電池の寿命は約1年です。
- 付属の乾電池は最初に使用するときのためにご用意しているものですので、1年未満で消耗することがあります。

ご注意

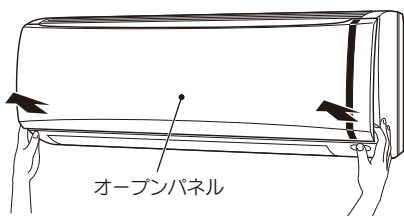
乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破れつすることがありますので、つぎの点について特にご注意ください。

- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式電池は寸法・性能などに、一部異なる部分がありますので使用しないでください。
- 長期間使わないときは、乾電池をリモコンから取りはずしておいてください。

リモコンが使えないとき（応急自動運転）

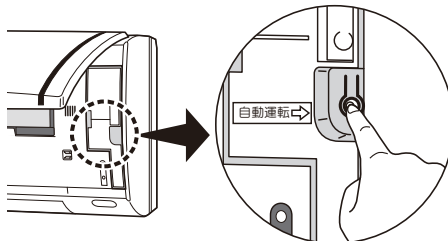
リモコンの電池が切れたり、リモコンをなくしたりしたときに、応急的に運転・停止ができます。運転の内容は自動運転です。（ 自動運転 7ページ）

オープンパネルを開けます



オープンパネルの左右下側を手前に引いて、オープンパネルを開けます。

自動運転スイッチを押します



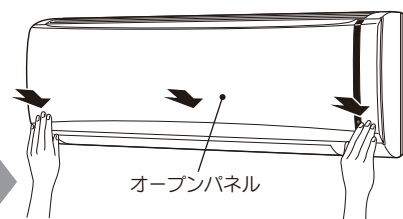
現在の室温と外気温に応じた自動運転を開始します。



注意

ぬれた手でスイッチを操作しない
感電の原因になることがあります。

オープンパネルを閉じます



オープンパネル下側の矢印部（3カ所）を押して、確実にオープンパネルを閉じてください。

ご注意

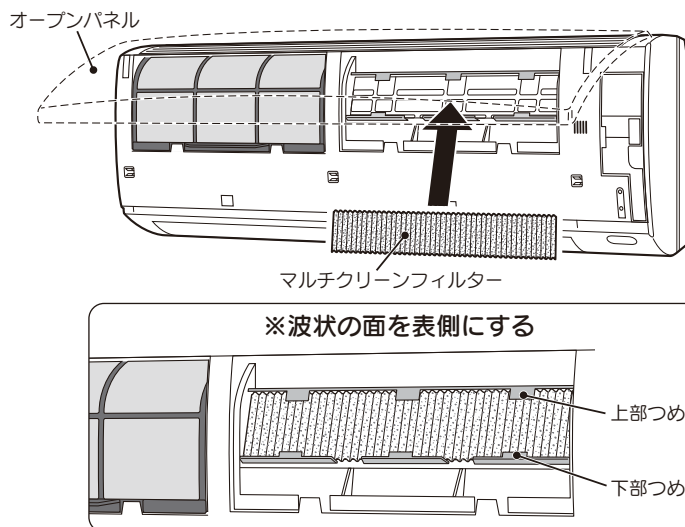
- 自動運転スイッチで運転を開始したときに停止させる場合は、再度自動運転スイッチを押してください。
- 自動運転スイッチを3秒以上押し続けると、内部乾燥運転を開始しますのでご注意ください。（ 内部乾燥運転 10ページ）

マルチクリーンフィルター(別売品)の取り付けかた



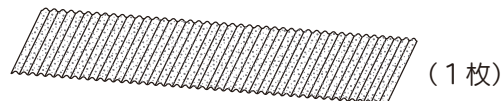
注意

フィルターを取り付けるときは、必ず運転を停止し、電源プラグを抜く
運転中は内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になることがあります。



別売品

マルチクリーンフィルター
型 式：CSH-AF3
交換の目安：約3カ月



※お近くの販売店でお買い求めください。

- フィルター取り付け場所は室内ユニットの左右に2カ所（エアフィルターの下）あります。
お好みで1枚または2枚フィルターを取り付けてください。
(フィルター1枚の場合は、室内ユニットの左右どちらに取り付けてもかまいません)
- オープンパネルを開けて、エアフィルターをはずします。
(エアフィルターのはずしかた 11 ページ)
- マルチクリーンフィルターを、波状の面を表側にして前面パネルの上下のつめの内側にはめ込みます。
- エアフィルターをもとどおりに取り付け、オープンパネルを閉じます。

マルチクリーンフィルターについて

マルチクリーンフィルターはダニ・花粉などを捕集・吸着して抑制します。さらに脱臭・除菌・空気清浄効果もあります。

- 一酸化炭素や有毒ガスを除去する効果はありません。
- 空気の汚れ度合いによっては有効期間以内でも効果がなくなります。
- 汚れたフィルターは洗って再使用することはできません。

4 省エネのためのじょうずな使いかた

エアフィルターの掃除はこまめに

エアフィルターの目づまりは、冷房能力を弱め、電気代がムダになります。2週間に一度はぜひお掃除をしてください。また、エアフィルターを付け忘れると、エアコン内部が汚れ、故障の原因になります。

風向調節をじょうずに

室温がむらにならないように風向を調節してください。冷風は上向きに吹き出すようにお使いください。また、冷房・ドライ運転のときにルーバーを長時間下向きにしていると、ルーバーの表面に露が付き滴下することがありますのでご注意ください。

室内温度は適温に

冷やしすぎは健康によくありません。また、電気のムダ使いにもなります。特に身体のご不自由な方や乳幼児、お子さま、お年寄り、ご病気の方などがご使用の場合は、周囲の方が常に注意してあげてください。

吸込口・吹出口をふさがない

エアコンの性能が低下したり、保護装置がはたらいて運転できないことがあります。

タイマーを有効に

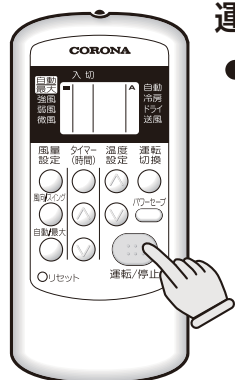
おやすみ時やお出かけのとき、タイマーを有効に利用し、必要なときだけ運転するようにしましょう。電気のムダが省けます。

窓にはカーテンやブラインドを

カーテンやブラインドで熱のもれを防ぎましょう。直射日光を防ぐと省エネ効果があります。

自動運転

室内・室外の温度センサをもとに運転開始時の状況に応じて、冷房・モニタリング送風のいずれかを自動的に選んで運転します。室温と外気温が変化すると、自動的に運転モードが切り換わります。

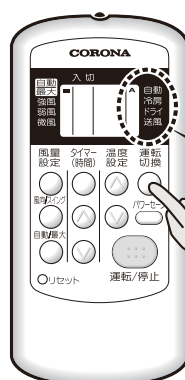


運転/停止ボタンを押します

- リモコン液晶表示部と本体表示部の運転（セーブ）ランプが点灯し、運転を開始します。

お知らせ

- 運転（セーブ）ランプの点灯色は通常【緑色】ですが、前回の運転がパワーセーブ運転のときは【オレンジ色】、風量最大運転のときは【赤色】に点灯します。



運転切換ボタンを押し、「自動」を選びます

- 運転切換ボタンを押すと、つぎの順番で運転の種類が切り換わります。



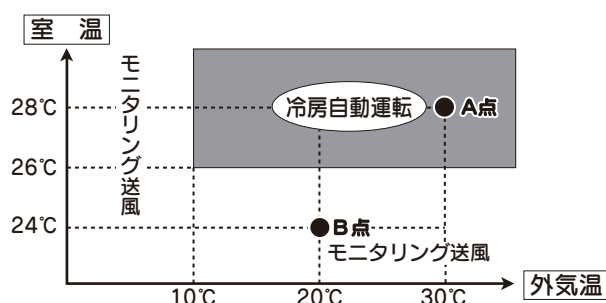
運転モードの選択

運転開始時の室温と外気温により自動的に運転モードを選択します。

例えば…

- 外気温30℃、室温28℃(右図のA点)のとき ⇨ 冷房自動運転
- 外気温20℃、室温24℃(右図のB点)のとき ⇨ モニタリング送風

運転中は運転状況により、自動的に運転モードを切り換えます。



	運転の種類	設定温度	風 量	動 作 ・ 特 徴
運転内容	冷房自動運転	26℃	自 動	●運転開始時、約1分間超微風で運転します。(二オイカット制御) ●室温が設定温度に近づくとき、冷やしすぎないように設定温度をあげて自動運転をおこないます。
	モニタリング送風	—	微 風	●室温と外気温が変化して運転モードが確定するまで続けます。

ご注意

- 自動運転のときは、設定風量・設定温度の変更はできません。運転内容がお好みに合わないときは、手動運転に切り換えて風量・温度を調節してください。
- 自動運転のときは、リモコンの液晶表示部は風量「自動」を表示し、設定温度は表示しません。

6 手動運転（冷房・ドライ・送風）

手動で冷房・ドライ・送風を選んで、温度や風量を細かく調節できます。

一度セットすると、次回からは運転/停止ボタンを押すだけで同じ内容の運転ができます。



運転/停止ボタンを押します

- リモコン液晶表示部と本体表示部の運転（セーブ）ランプが点灯し、運転を開始します。

お知らせ

- 運転（セーブ）ランプの点灯色は通常【緑色】ですが、前回の運転がパワーセーブ運転のときは【オレンジ色】、風量最大運転のときは【赤色】に点灯します。



運転切換ボタンを押し、「冷房」「ドライ」「送風」のいずれかを選びます

- 運転切換ボタンを押すと、つぎの順番で運転の種類が切り換わります。



設定温度を変えたいときは… 温度設定ボタンを押します。

- (▲) ボタンを押すと設定温度があがり、(▼) ボタンを押すと設定温度がさがります。
- 設置状況により、お部屋の温度計と一致しないことがあります。

設定温度範囲とおすすめ温度

室温と外気温との差が大きくなりすぎると健康によくありません。
おすすめ温度の範囲でのご使用が理想的です。

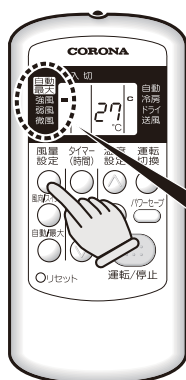
運転の種類	冷 房	ド ラ イ	送 風
おすすめ温度	26～28℃	室温より1～2℃低め	——
設定温度範囲	17～30℃ (1℃刻み)		



風量を変えたいときは… 風量設定ボタンを押し、好みの風量を選びます。

風量「最大」運転は、2部屋などの空間に対して、全体をむらなく冷やしたいときお使いください。
風量「自動」運転は、室温に応じ風の強さが自動的に変わります。

- 風量設定ボタンを押すと、下図のローテーションAまたはBの範囲内で風量設定できます。



【ローテーションA】

「最大」→「強風」→「弱風」→
「微風」→「最大」…の順で風量
設定できます。
(「自動」にはできません)

自動最大 ■ のときは、「最大」
運転をおこないます。



【ローテーションB】

「自動」→「強風」→「弱風」→
「微風」→「自動」…の順で風量
設定できます。
(「最大」にはできません)

自動最大 ■ のときは、「自動」
運転をおこないます。



風量「最大」選択時の表示

【リモコン液晶表示部】



【本体表示部】

- 運転(セーブ)

赤色に点灯

(※強/弱/微風時)
は緑色に点灯)

風量「自動」選択時の表示

【リモコン液晶表示部】



【本体表示部】

- 運転(セーブ)

緑色に点灯

- 風量「最大」または「自動」の運転状態の識別は、本体表示部の運転(セーブ)ランプの点灯色でお知らせします。
- 自動/最大ボタンによる切り換えをしない限り、同じローテーション内で風量切り換えをおこないます。

最大/自動(ローテーションA/B)の切り換えを

したいときは… 自動 / 最大ボタンを押します。

※現在の風量設定によりボタンを押す長さが異なります。



切り換え内容	操作方法
風量「最大」(ローテーションA) ▼	自動/最大ボタンを 押す(3秒以内)
風量「自動」(ローテーションB) ▼	自動/最大ボタンを 3秒押す(長押し)
風量「自動」(ローテーションB) ▼	自動/最大ボタンを 3秒押す(長押し)
風量「最大」(ローテーションA)	

※各ローテーションのどの風量設定からでも、
自動/最大ボタンの操作により風量「最大」
または風量「自動」へ切り換わります。

ご注意

- エアコンをお買いあげ後の初使用時や、停電後などの通電再開時には、風量設定はローテーションAとなります。風量「自動」(ローテーションB)にしたい場合は、自動/最大ボタンで切り換えてください。
- パワーセーブ運転(9ページ)時は、風量「最大」を選択しても「強風」にて運転します。
- ドライ運転のときは、風量「自動最大」を表示し、「微風」で運転します。風量設定ボタンや自動/最大ボタンを押しても風量の切り換えは受け付けません。

ご注意

- 冷房運転の風量「自動」・ドライ運転を開始したときは、約1分間超微風で運転します。(ニオイカット制御)
- 湿度が高いときに長時間冷房・ドライ運転をすると、室内ユニット吹出口付近に露が付き滴下することがあります。
- ドライ運転時、室温が設定温度より高いときはコンプレッサの運転を高め除湿能力をアップし、室温がそれほど高くないときはコンプレッサの運転を低めにし室温の低下を極力おさえます。

冷房シーズン終了時にはカビの発生をおさえるために、内部乾燥運転をおこない内部をよく乾燥させてください。(内部乾燥運転 10ページ)

7 風向/スイング運転(風向調節)

お部屋全体をむらなく冷やしたいときにお使いください。水平位置付近でルーバーをスイングさせ、涼風感を高めます。

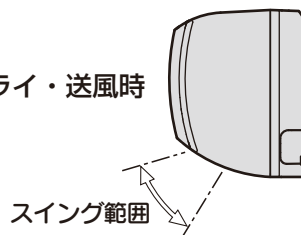
スイング運転



風向/スイングボタンを押すとスイング運転を開始します。

やめるときは… 再度、風向/スイングボタンを押します。
●ボタンを押したときの位置でルーバーが停止します。

冷房・ドライ・送風時



ルーバーの調節(上下の風向調節)

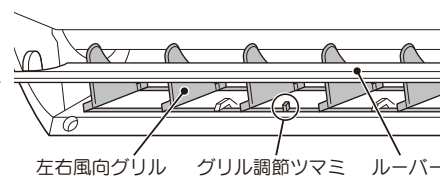
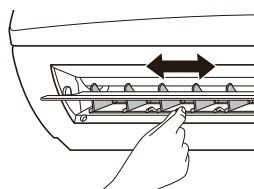


運転中に風向/スイングボタンを押します。

●ルーバーがスイングを始めますので、お好みの位置でもう一度、風向/スイングボタンを押してルーバーをとめてください。

左右風向グリルの調節(左右の風向調節)

ルーバーをリモコンでお好みの位置でとめてから、グリル調節ツマミを手でおさえて左右に調節します。



左右風向グリル グリル調節ツマミ ルーバー



警告

吹出口の奥の方まで指を入れない
内部でファンが高速回転しており、けがの原因になります。

ご注意

- 運転停止時や入タイマーセット時はルーバーを自動的に閉じます。
- 運転停止中や入タイマーセット中は、ルーバーの調節はできません。
- ルーバーは手で調節しないでください。誤動作したり、ルーバー表面に露が付き滴下することがあります。
- 長時間ルーバーを下向きにしたり、左右風向グリルを大きく左右にわけた状態で冷房やドライ運転をすると、吹出口付近に露が付き滴下することがあります。
- 左右風向グリルの調節時は、ルーバーをスイングさせないでください。

8 パワーセーブ運転

最大運転電流を低くおさえた運転をおこないます。

春先や秋口など大きなパワーを必要としないときや、複数のお部屋で同時にエアコンを運転させたり、他の電気製品と同時に使ったりするときなど、ブレーカーが切れるような場合にお使いください。



パワーセーブボタンを押すとパワーセーブ運転を開始します。

●本体表示部の運転(セーブ)ランプがオレンジ色になります。

パワーセーブ運転時の最大運転電流は、約8Aです。

やめるときは… 再度、パワーセーブボタンを押します。

●本体表示部の運転(セーブ)ランプがオレンジ色から緑色(風量「最大」運転をしていたときは赤色)にかわり、元の運転にもどります。

ご注意

- パワーセーブ運転は電流値をおさえた運転をおこなうため、よく冷えない場合があります。お使いの状況に応じて通常運転と使いわけてください。
- パワーセーブ運転中に運転を停止した場合、次回もパワーセーブ運転で運転を開始します。
- パワーセーブ運転中は、風量「最大」設定にしても「強風」の運転をおこないます。



注意

ぬれた手でスイッチを操作しない
感電の原因になることがあります。

内部乾燥運転は、冷房シーズン終了時などのクリーン機能として室内ユニット内部を乾燥させ、イヤなニオイの原因となるカビや細菌の繁殖を抑えます。

エアコン停止中に室内ユニットの自動運転スイッチを3秒以上押すと内部乾燥運転を開始します。

自動運転スイッチは、室内ユニットのオープンパネルをあけた場所にあります。(P.5ページ)

●内部乾燥運転中は、室内ユニットの運転(セーブ)ランプが赤色に点灯します。

●内部乾燥運転は、運転開始約60分後に自動的に停止します。

お知らせ

■内部乾燥運転中は、ルーバーは水平方向に開きます。

■内部乾燥運転を途中で停止させたいときは、自動運転スイッチを短く1回(1秒程度)押してください。

また、リモコンで停止する場合は、一度リモコンの運転/停止ボタンを押して、液晶表示部を表示させてから、再度運転/停止ボタンを押してください。

ご注意

■エアコン運転中に自動運転スイッチを押すと、現在の運転を停止するだけです。停止後再度操作してください。

■内部乾燥運転をさせたいとき、自動運転スイッチを押して3秒以内に手をはなすと、応急自動運転を開始しますのでご注意ください。(P.5 応急自動運転 5ページ)

■内部乾燥運転は、送風運転により室内ユニット内部の乾燥をおこないます。このとき、室内の湿度が若干上昇しますので、窓を開けてお使いになることをおすすめします。

■内部乾燥運転は、すでに発生したカビや雑菌を除去するはたらきや、殺菌効果はありません。

10 タイマー運転

タイマーをじょうずに使って必要な時間だけ運転するようにしましょう。(切タイマーと入タイマーの同時設定はできません)

切タイマー(運転→停止)のセット

タイマー切換ボタンを押します。

つぎの順番に表示が切り換わります。



「切」●を選択します。

●本体表示部のタイマーランプが点灯します。



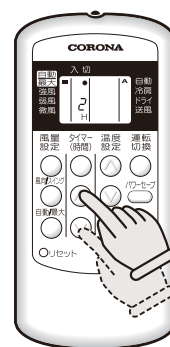
時間をセットします。

△・▽ボタンを押してエアコンを停止させたい時間に合わせます。
(表示の時間後にエアコンの運転を停止します。)

セット終了です。

※1時間から12時間まで1時間単位でセットできます。

※セット時間は記憶されます。



自動運転で切タイマー運転をした場合のみ、通常の設定温度に対し右記のように設定温度を変更します。
おやすみ中は体温調節機能が低下しますので、冷えすぎないように室温コントロールします。

切タイマー運転開始 1時間後の設定温度	切タイマー運転開始 2時間後の設定温度
約1℃高め	約2℃高め

(2時間以降は、2時間後の設定温度と同じままとまります。)

入タイマー(停止→運転)のセット

タイマー切換ボタンを押します。

つぎの順番に表示が切り換わります。



「入」○を選択します。

●本体表示部のタイマーランプが点灯します。



時間をセットします。

△・▽ボタンを押してエアコンを運転させたい時間に合わせます。
(表示の時間後にエアコンの運転を開始します。)

セット終了です。

※1時間から12時間まで1時間単位でセットできます。

※セット時間は記憶されます。



タイマーセットの取消

再度、タイマー切換ボタンを押して連続運転にします。

「切」●タイマーのとき ⇨ ●とタイマー時間の表示は消えます。(2回押し)

「入」○タイマーのとき ⇨ ○とタイマー時間の表示は消え運転を開始します。

●本体表示部のタイマーランプが消灯します。



切タイマーは2回
入タイマーは1回

ご注意

■タイマー運転中に停電があったときは、通電が再開したらタイマーを再度設定してください。

■電池交換をすると切タイマーは1時間、入タイマーは6時間の設定となりますので再度設定してください。

11 お手入れのしかた

警告

お客様自身で室内ユニット内部の洗浄をしない、また消臭剤を吹きかけない
内部の洗浄には専門技術が必要なため、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談する
樹脂部品の破損・内部部品の劣化・排水経路の詰まりに至ることがあり、水もれや感電の原因になることがあります。また、洗浄剤や消臭剤が電気部品やモーターにかかること、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

注意

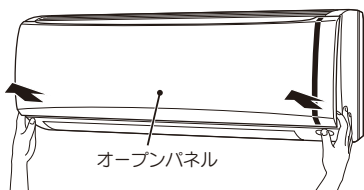
お手入れをするときは、必ず運転を停止し、電源プラグを抜く

内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になることがあります。

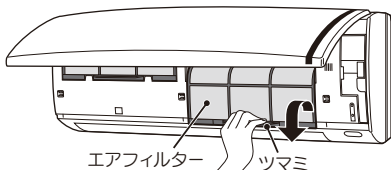
お手入れをするときは、不安定な台に乗らない
転倒などけがの原因になることがあります。

エアフィルター

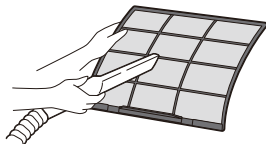
- オープンパネルの左右下側を手前に開き、“カクッ”と音がする位置(約60°)で固定します。



- エアフィルターのツマミをつまんで少し持ち上げ、下方に引き出します。



- 掃除機で吸い取るか、軽くたたいて汚れを取り除きます。

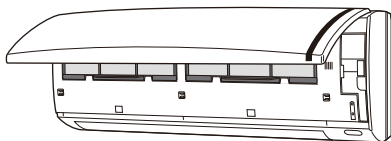


- 汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かした40℃以下のぬるま湯か水で洗ってください。洗った後はよくすすいで、水気を十分ふきとり、日陰で乾かします。

ご注意

エアフィルターが目づまりすると冷房効果が下がることがあります。2週間に一度はお手入れをしてください。

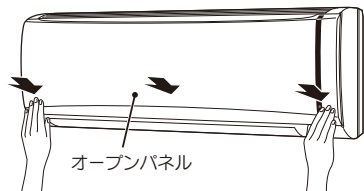
- エアフィルターをガイドに沿って差し込み、確実にめ込みます。



ご注意

エアフィルターを入れずに運転すると、ほこり等が内部に入り、故障の原因になります。

- オープンパネル下側の矢印部(3カ所)を押して、確実にオープンパネルを閉じます。

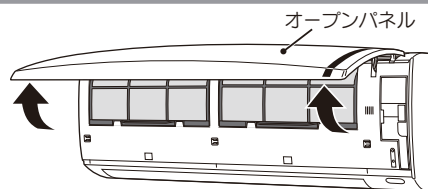


長期間使わないとき

- 内部乾燥運転をして室内ユニット内部をよく乾燥させます。(内部乾燥運転 10 ページ)
- 内部乾燥運転終了後、電源プラグを抜きます。
- エアフィルターを掃除し、もとどおりに取り付けます。
- リモコンの電池を取り出します。

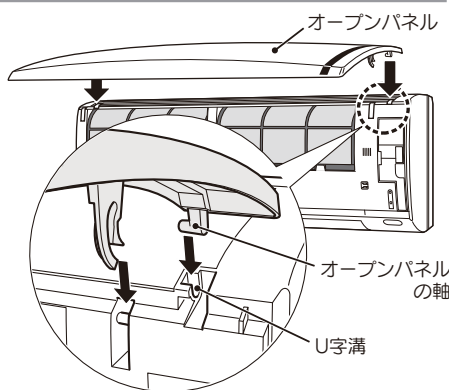
オープンパネル

- オープンパネルの左右下側を手前に引いて開き、“カクッ”と音がする位置(約60°)よりさらに上方に軽く持ちあげてはずします。



- オープンパネルのお手入れには、スポンジや布などのやわらかい物を使用してください。
- 水洗いするときは、40℃以下のぬるま湯か水を使用してください。汚れがひどいときは中性洗剤を使用して洗い、洗剤を残さないようよくすすいでください。表示部のすき間に水が入り込むことがありますので、水洗いしたあとは、やわらかい布でふき取るか、日陰で乾かして、水分を十分に取り除いてください。

- オープンパネルを水平に持ち、室内ユニット上部左右にあるU字溝にオープンパネルの軸をはまるようにのせて、確実にオープンパネルを閉じます。



室内ユニット・リモコン

- やわらかい布などでからぶきしてください。
- 汚れがひどいときは、40℃以下のぬるま湯か水を含ませた布をかたくしぼってふいてください。直接水をかけないでください。
- ベンジン、シンナー、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは、変形、変色、傷の原因になりますので使用しないでください。

使い始めるとき

- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。(アースが不確実な場合、故障や漏電のときに感電の原因になります。アース工事は、お買いあげの販売店または専門業者にご依頼ください。)
- 室内ユニット・室外ユニットの吸込口や吹出口がふさがれていないか確認します。
- ドレンホースの排出口がふさがれていないか確認します。
- 電源プラグを差し込みます。
- リモコンに電池を入れます。(運転前の準備 5 ページ)

12 エアコンの運転と性能について

ニオイカット制御について

- 自動運転で運転を開始して冷房が選択されたときと、手動運転で冷房の風量「自動」・ドライを選択して運転を開始したときに自動的にニオイカット制御がはたらきます。運転開始後、約1分間超微風で運転し、熱交換器を急速に冷やす制御(ニオイカット制御)でお部屋に流れ出る臭いを軽減します。

3分間保護について

- 運転停止後すぐに運転/停止ボタンを押しなおしたときや、電源プラグを差し込んだ直後には、エアコンを保護するため、室外ユニットは約3分間経過してから運転を開始します。

エアコンの運転条件

冷房運転	外気の温度/約21℃以上 50℃以下 部屋の温度/約21℃以上 32℃以下 部屋の湿度/80%以下
ドライ運転	80%をこえた状態で長時間運転すると室内ユニットの表面に露が付き滴下することがあります。

この条件以外の温度で運転されますと保護装置がはたらいて運転できないことがあります。運転設定・条件によっては、設定以上の風量になることがあります。

13 故障かな?と思ったら

	症 状	原 因 ・ 処 置 方 法
故障ではありません	冷房またはドライ運転開始時、吹出口から白い霧状の冷気が出る場合がある	●お部屋の空気が急に冷やされて白く見えることがあります。
	部屋が臭う	●壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んでいる臭いが出てくるためです。
	“シューシュー” “ピシピシ” などの音がする	●シューシューと水の流れるような音は管の中を流れる冷媒の音です。 ●ピシピシ音は、温度の変化により部品が伸び縮みするときの音です。
	運転開始時、ルーバーが一瞬停止する	●ルーバーの位置決めをするため、運転開始時にルーバーが一瞬停止することがあります。
	運転開始時および運転停止時にルーバーから“クックッ” “カタカタ” 音が発生する	●ルーバーの位置決めをする際、発生することがあります。
	室外ユニットから水が出る	●冷房・ドライ運転時は、冷媒配管が結露することがあります。
	室内ユニットから“ポコポコ” という音が発生したり、水もれがおきる	●高気密住宅で強力な換気扇を使用した場合や、高層住宅など高所に据え付けた場合など、ドレン水がスムーズに流れないために発生することがあります。 お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
	風量が強すぎる	●風量が「最大」に設定されていませんか。(15 手動運転 8ページ)
もう一度お調べください	運転しない	●停電ではありませんか。 ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●リモコンの電池が切れていませんか。 ●電源プラグがはずれていませんか。
	冷えない	●室内ユニット・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 ●エアフィルターにほこりやゴミがつまっていますか。 ●室外ユニットに常時強風が当たっていませんか。 ●ドアや窓が開いていませんか。 ●風量設定が「微風」になっていませんか。 ●ルーバーが適正な位置になっていますか。 ●パワーセーブ運転中ではありませんか。 ●室温設定が適正な温度になっていますか。
停電のとき	運転中に停電したとき	●すべての運転を停止します。通電が再開すると、本体表示部の運転(セーブ)ランプ【緑色】が点滅してお知らせします。運転をつづけたいときは、再度運転/停止ボタンを押してください。
	タイマーセット中に停電したとき	●すべての運転を停止し、タイマー予約は取り消しとなります。通電が再開すると、本体表示部の運転(セーブ)ランプ【緑色】が点滅してお知らせします。通電再開後、再度設定してください。
運転中誤作動したとき	万一、カミナリ・カー無線などにより誤作動したとき	●コンセントから電源プラグを抜き、もう一度差し込みなおしてから、運転/停止ボタンを押しなおしてください。

警告

エアコンが冷えない場合は、冷媒のもれが原因のひとつとして考えられるので、お買いあげの販売店に相談する
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常もれることはありませんが、万一冷媒が室内にもれ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

■本体表示部のランプが点滅している場合は故障です。

○ 運転(セーブ)

○ タイマー

(ただし、運転(セーブ)ランプ【緑色】が点滅(1秒間に1回の連続)している場合は停電表示です。正常に再運転できれば故障ではありません。)

運転を停止して電源プラグを抜いた後、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。その際、点滅しているランプの種類・色・点滅回数をお知らせください。

【点滅回数について】

(例) 3回点滅の場合、1秒間に1回の点滅を連続3回し、3秒消灯後同じ動作を繰り返します。

※ランプの点滅速度は1秒間に1回が基本ですが、タイマーランプのみ1秒間に5回の早い点滅をする場合があります。

14 据え付け



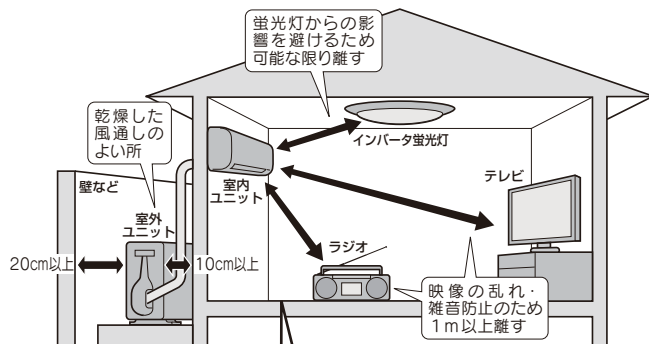
警告 エアコンの据え付けや移動再設置には専門の技術が必要なため、お買いあげの販売店または専門業者に依頼する据え付けに不備があると水もれや感電・火災などの原因になります。

据え付け場所

このような場所への設置はさけてください。また、設置後もときどき確認してください。 ※エアコン移設の際は、別途費用がかかります。

- 可燃性のガスがもれるおそれのある場所
- ドレン水を円滑に排水できない場所
 - 冷房・ドライ運転時は室内ユニットから出た水分を室外へ排出します。排水がうまくいかないと、室内ユニットから水もれするおそれがあります。
- 油煙や蒸気にさらされる場所や機械油の多い場所
- テレビやラジオが1m以内、テレビのアンテナが3m以内にある場所

火災報知器が吹出口より1.5m以内にある場所
- 海岸地区のような塩分の多い場所
- 温泉地のような硫化ガスの発生する場所
- 動植物に直接風が当たる場所
- 吸込口や吹出口の周囲に障害物がある場所
- 海岸地区やビルディング上階部など室外ユニットに常時強風のあたる場所
- 業務用としての使用および車両、船舶など移動するもの



注意 床面などにワックスを塗布するときは、運転をしないエアコン内部にワックスの成分が付着し、水もれの原因になります。ワックス塗布後は十分換気してから運転してください。

電気工事

- 電源は必ず定格電圧でエアコン専用回路をご使用ください。

騒音にもご配慮を

- 運転音や振動が増大しないような丈夫な壁や強固な台をお選びください。
- 室外ユニットの吹出口の近くに障害物を置きますと、騒音増大のもとになることがあります。
- 室外ユニットの吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- エアコンをご使用中異常音がする場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

15 仕様

型 式		室内ユニット RC-V2822R	室外ユニット RO-V2822R	室内ユニット RC-V4022R	室外ユニット RO-V4022R	
種 類		冷房専用分離形（インバーター）				
電 源		単相 100V 50／60Hz				
冷	能 力 (kW)		2.8 (0.8～3.4)		4.0 (0.8～4.2)	
	消 費 電 力 (W)		820 (115～950)		1340 (115～1455)	
	運 転 電 流 (A)		9.11		14.41	
	運転音 (dB:音響パワーレベル)		61	60	64	63
房	面積の目安 (㎡)	鉄筋アパート 南向き洋室	19		28	
		木南 向 き 和 造 室	13		18	
質 量 (kg)		9.5	18.5	9.5	29.0	
外形寸法 (高さ×幅×奥行) (mm)		290×795×235	533×666×249	290×795×235	533×780×278	

- 運転特性は、JIS C 9612 : 2013 に基づいた数値です。
- この仕様の数値は50Hz・60Hz共通です。
- この製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
- 長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。リモコンで運転を「停止」していても約0.7Wの電力を消費します。

16 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

- 保証書はお買いあげの販売店でお渡しいたしますので、「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買いあげいただいた日から1年間です。
(ただし、冷媒回路の保証期間は5年間です。)

保証期間中は

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後は

- お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(☎裏表紙)にご相談ください。
修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- エアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理を依頼されるときは

- 「エアコンの運転と性能について」「故障かな?と思ったら」(☎12ページ)を調べていただき、それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(☎裏表紙)にご連絡ください。
ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
 - 品名: ルームエアコン
 - 型式 (本体銘板(☎3ページ)または保証書をごらんください。)
 - お買いあげ日 (保証書をごらんください。)
 - 故障内容 (できるだけ具体的に。本体表示部のランプが点滅しているときは、その内容も確認してください。)(☎12ページ)
 - ご住所・お名前・電話番号 ●訪問ご希望日
- この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

■エアコン取りはずし・廃棄時にご注意願います。



家庭用エアコンにはGWP(地球温暖化係数)が675のフロン類(R32)が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

【冷媒の見える化表示について】

この表示は、家庭用エアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。エアコン取りはずしの際は、フロン類の回収が必要です。〈廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロン類の適正処理がなされます〉

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化など料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

17 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍におこなっています。

【製造年】 (本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります)



【設計上の標準使用期間】 10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

【標準使用条件】 ルームエアコンディショナの設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件による (JIS C 9921-3)

環境条件	電源電圧	定格表示電圧による
	周波数	定格表示周波数による
	冷房室内温度	27℃ (乾球温度)
	冷房室内湿度	47% (湿球温度 19℃)
	冷房室外温度	35℃ (乾球温度)
	冷房室外湿度	40% (湿球温度 24℃)
	設置条件	機器の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	機器能力に見合った広さの部屋 (畳数)
想定時間	1年あたりの使用日数	東京モデル 冷房 6月2日から9月21日までの112日間
	1日あたりの使用時間	冷房 9時間/日
	1年間の使用時間	冷房 1,008時間/年

■設計上の標準使用期間とは、運転時間や温湿度など、左記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

ご注意

■設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■設置状況や環境、使用頻度が左記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。



お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください

電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号 365日24時間受付）

TEL フリーダイヤル  **0120-919-302**

携帯電話 PHS ナビダイヤル  **0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理・アフターサービスに関するお問い合わせ

<https://www.corona.co.jp/support/service/>



■365日24時間修理依頼ができます。

部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。

右記QRコードからアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。

補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。



CORONA 公式オンラインストア

コロナストア

<https://ec.coronaweb.com/shop/>

（コロナ公式ホームページからもアクセスできます）



50609102

点検整備のおすすめ

- エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。エアコンを長持ちさせるために、通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
- エアコン内部のクリーニングは、お買いあげの販売店へご相談ください。お客様自身で実施されますと故障の原因となる可能性があります。
- 点検整備は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

愛情点検		長年ご使用のエアコンの点検を！	●エアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。	
	このような症状はありませんか	■電源コードやプラグが異常に熱い ■室内ユニットから水もれがする ■電源プラグやコンセントが変色している ■ヒューズやブレーカーがひんぱんに切れる ■架台や吊り下げなど取付部品が腐食、ゆるんでいる ■本体のスイッチやリモコンの操作が不確実 ■その他の異常や故障がある	ご使用中止	故障や事故防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。点検・修理について詳しいことはお買いあげの販売店にご相談ください。

お客様メモ	
●お買いあげの際に記入されると便利です。	
販売店名	電話（ ） —
お買いあげ日	年 月 日

株式会社 **コロナ**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL(0256) 32-2111 〈代表〉

ホームページ <https://www.corona.co.jp/>